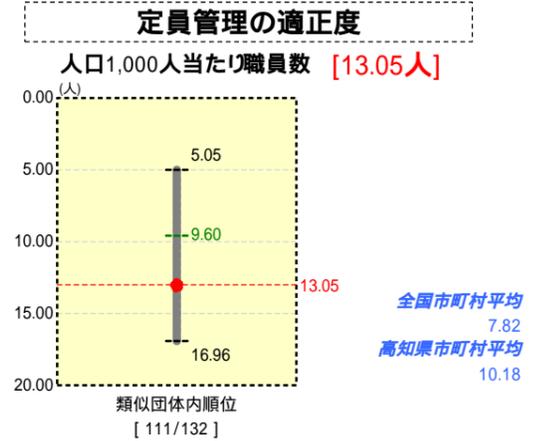
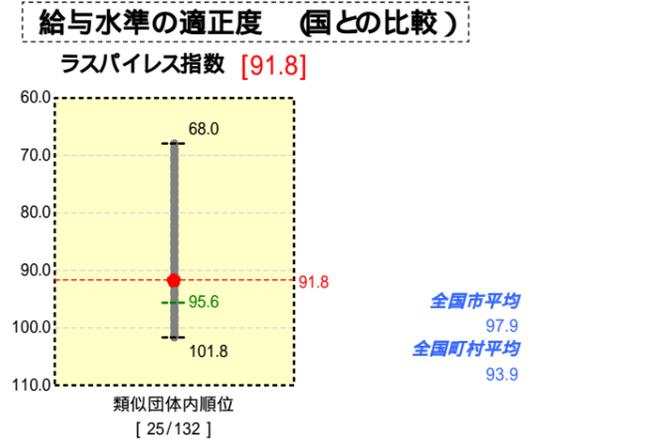
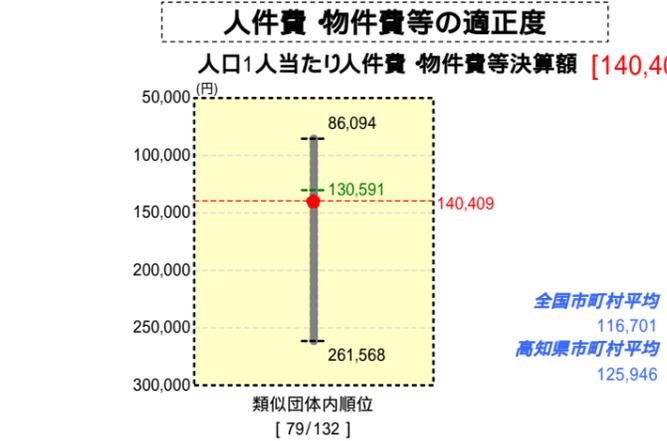
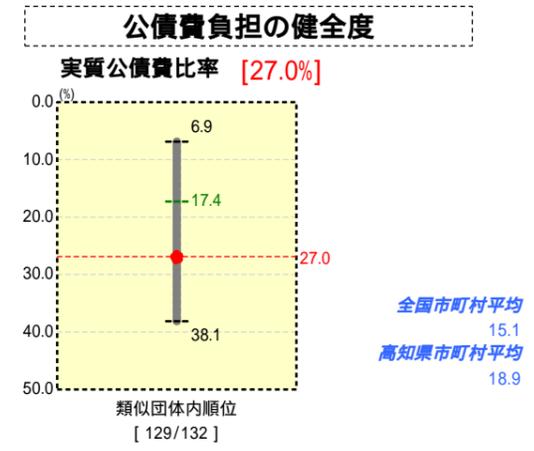
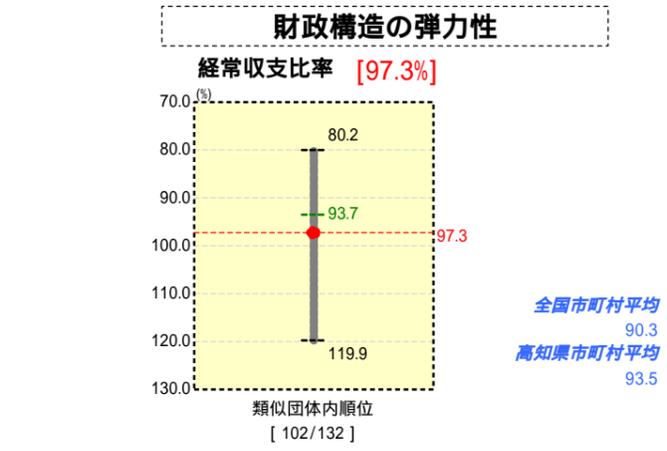
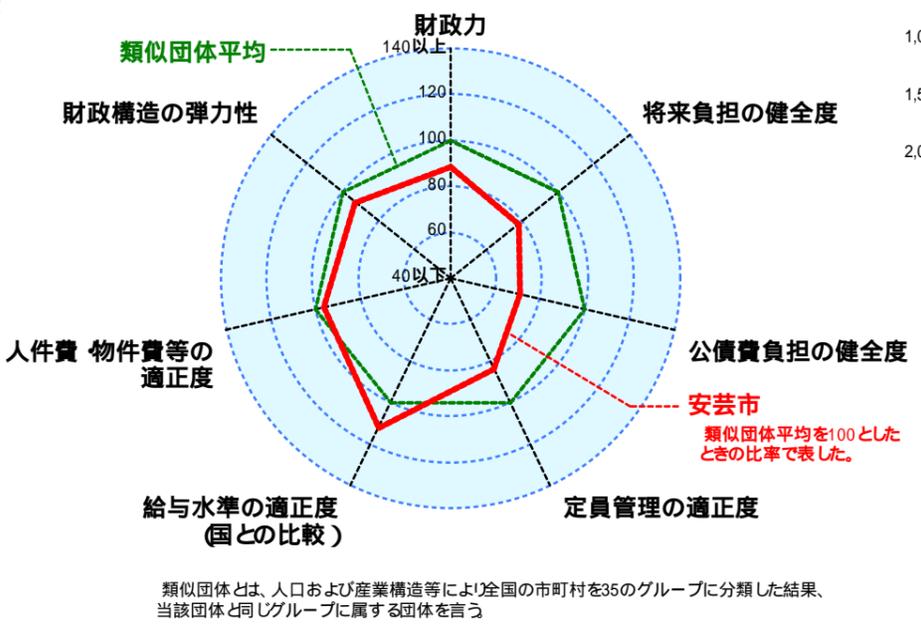
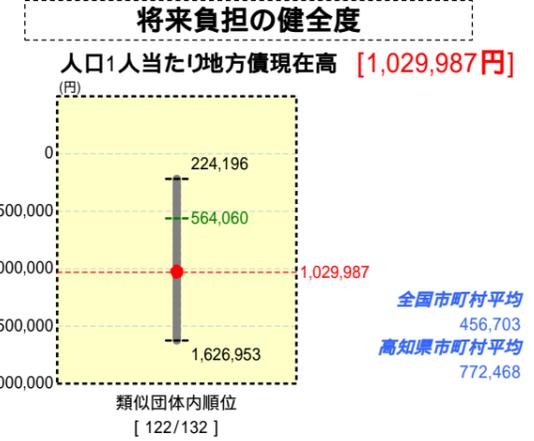
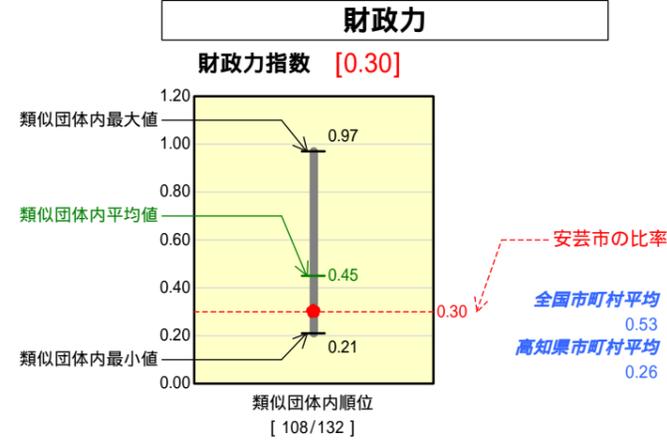


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

高知県 安芸市

人口	20,767	人(H19.3.31現在)
面積	317.34	km ²
歳入総額	11,141,538	千円
歳出総額	11,052,454	千円
実質収支	57,836	千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数
景気の低迷や人口の減少等で市税収入が平成11年度をピークに減少に転じたことなどから類似団体および全国市町村の平均を大幅に下回っている。平成15年度に策定した安芸市緊急財政健全化計画(アクションプラン)に基づいて、給与カットや職員数の削減による人件費の抑制、市債発行抑制による公債費削減、差押え等の徴収強化による歳入確保などの行財政改革を継続して行っており、今後も財政の健全化に取り組んでいく。

経常収支比率
経常的な人件費や物件費等は減少したものの、比率のうち公債費に係るものが40.6%と依然増加している。さらに分母である市税や普通交付税(臨財債含む)が減少したことで、比率は前年度から1.0%上昇することとなった。今後は徴収体制の強化などによる市税等の経常一般財源確保に努める一方、市債発行抑制による公債費負担の軽減等義務的経費の削減を図る。

ラスパイレズ指数
近年、勤奨退職者が増加傾向にある中、平成18年度の退職者は15名(うち勤奨15名)となり、新規採用者も近年大幅に抑制しているため、職員数は平成13年度当初比で97名の減(2.5%)となった。さらに平成16年度から実施している給与カット等の効果により、ラスパイレズ指数は91.8と類似団体の平均を大きく下回っており、今後も低水準の維持に努める。

実質公債費比率
安芸市緊急財政健全化計画(アクションプラン)に基づいて近年市債発行額の抑制に努めているが、比率については据置期間の関係から依然上昇傾向が続いており、平成18年度決算で27.0%と全国的にも非常に高い数値となっている。今後は政府資金補償金免除繰上償還や民間資金の繰上償還を積極的に実施することで、比率の抑制に努める。

人口1人当たり地方債現在高
平成15年度より市債残高は減少しているものの、類似団体平均の約2倍と依然高い水準となっている。今後も継続して市債発行の抑制に取り組む。

人口1,000人当たり職員数
類似団体、全国市町村平均を大幅に上回っており、今後も新規採用者の抑制などで職員数の削減に努める。

人口1人当たり人件費 物件費等決算額
アクションプランに基づく行財政改革の推進・継続により人件費、物件費等は減少しており、人口1人当たり決算額は類似団体の平均値を上回っているものの、近い数値となっている。これらも行財政改革を継続することで人件費や物件費の削減に取り組んでいく。